

## 吉永地区（11月28日）

### A氏

金剛川および八塔寺川の改修は県の事業で行われ、金剛川は蛇行がなくなり三石地区から吉永地区への水の到達が短時間に勢いよく流れています。特に51年の災害により三石地区に五石側の交流点から野谷までバイパス河川 2001メートルを設置したため、大雨の時吉永地区の金剛川本線の水位は予想外に早く上がっています。そのため、金谷地区の山田谷川、福満地区の北池谷川などの内水排除ができなくなって浸水の被害を受けています。

南福橋から下流の堤体断面が最大流量に対して不足しています。県が計画した「金剛川整備計画」が現状に対応できなくなってきているので、見直しをお願いします。

応急対策として、三石野谷地区から下流の吉永地域へ緊急災害警報器の設置、下流部の完全張ブロック施工、建設中の揚水ポンプ設置工事の早期完成をお願いします。また、設備能力の説明をお願いします。

恒久対策として、金剛川の最大水量に対する堤体断面を見直して、工事計画を立てるようをお願いしたい。

柳井堰から下流の「犬走り」をとって堤体断面を広げ、南方川、柏原川の内水排除として、排水装置設置を検討してください。

県民局にも、強くお願いして解決してもらおうよう、再度お願いします

次に、吉永駅南口に改札口の設置及び山陽本線の北側から抜けて病院へ行く通路、東から西へ向けての通路の整備を進めてください。

### 産業建設部長

緊急災害警報器の設置は、県に要望していますが、設置されていません。防災を知らせるための措置として必要な装置だと考えていますので、引き続き、県に要望します。

張りブロック施工は、引き続き、県へ施工を要望します。

河川断面を見直した上での新たな工事計画は、国・県で新たな河川整備計画の策定を進めています。県へ整備計画に盛り込んでいただけるよう要望したいと考えています。

犬走り部分を取り除いて、河川断面を広げることは、犬走りより上の護岸の必要な根入れが取れなくなるなど難しい面もありますが 県へ現在の河川断面より流下能力がとれるかどうか協議していきたいと思います。

### 上下水道部長

吉永汚水ポンプ施設の排水区域は、吉永中、岩崎、三股地区と山地からの流入区域を合わせて144ヘクタールの区域の排水を行うものです。時間当たりの降雨強度は44ミリメートルで 計画流量は1秒間に9立方メートルです。排水能力3トンのポンプを3基設置します。建物は、鉄筋コンクリート造り陸屋根地下1階付きのもので、2階建で建築面積は274平方メートルです。

平成18年度から流入渠、河川放流渠、ポンプ場の本体工事を行なっています。平成19年度から2カ年でポンプ及び電気設備の製作・設置を行ない、平成21年度に場内整備を行ない事業完了となり、供用開始は、平成21年3月末の見込です。

南方川、柏原川の内水排除ですが、金剛川の河川断面の不足は外水位に影響するものと

考えられます。現地調査などによりこれらの状況を把握したいと考えています。

## 市長

JRの南口ですが、今日、商工会議所の会頭とJR西日本の神戸支社に陳情に行ってきました。この他、岡山の支社長やJR西日本の社長にもお願いしています。

無人改札口は、山陽本線、赤穂線とも備前市の手前で止まっています。吉永駅を無人駅にする場合、1番ホーム、2番ホームには橋がありますが、3番ホームには橋がないので、橋をかける必要があります。橋をかけると機械を置くことが可能になりますが、費用は結構かかります。JRは工事する場合、ゆっくり走る料金、減速料ということで、月に600万円必要といます。年間ですと7,200万円必要になります。いずれにせよ、吉永の南方、福満の発展に必要なものです。駅さえ整備すれば吉永は乗降客数が多いので、可能性はあると思います。

## B氏

金剛川の犬走りを歩いていると自動のサブタ（フラップゲート）が、さびついて動かないものやゴミを詰めているものもあります。逆流して危険なので、動くよう県へお願いしてください。南方にもそういうところがあります。

## C氏

先日、県民局東備支局にその旨を報告し担当に来ていただきました。

## B氏

大雨が降った時、南福橋より上流から白い泡のような水が流れてきて、その後、魚がぶかぶか浮いていました。雨が降った時は監視してください。

## C氏

環境公害対策委員会で、話をしています。調べてみるとのことでした。鉾毒の場合、膨大な敷地なので手の打ちようがありませんが、それ以外だと調べる必要があると思います。

## 市長

廃鉾山の対策は、野谷・金谷・板谷の3カ所でやっています。抜本的な方法はないかと頭を痛めています。

## D氏

金谷地区のJR隧道、進入道路拡張は、その後どうなっていますか。8月の市議会だよりは、測量設計では10から12億円の経費が必要で、拡張は不可能に近いので、先に地区内、北側の道路工事を検討したい。また、現在の進入路を下げ、緊急車両の小型発注での対応などを含めて検討したいとの市長の答弁がありました。

今後の計画をお聞かせください。また、地区説明会の開催をお願いします。

## 市長

金谷地区内のJR隧道の地盤を少し下げたら救急車が通ります。しかし、通行できても地区内道路が狭く、車がかわらなければ（「すれ違い」、「転回」できなければ）意味がない

ということで、JR北側の地区内道路を広げて車がかわれるようにした後、地盤を掘り下げないようにしていきます。来年度、用地の測量を含めた詳細設計を行いたいと考えています。道路の拡幅には用地の確保が必要となりますので、協力をお願いします。

説明会は、日程協議のうえ開催したいと思います。

## E氏

吉永地区では、草刈、清掃、森林整備などの作業奉仕活動、盆踊り、敬老会、運動会などの地域交流活動など、住民の協力で円滑な活動が維持されています。小さな問題は発生していますが、伝統的に活動は維持されています。しかし、豪雨による住宅や田畑の浸水、雨水排水計画、道路改修計画など、地域で対応できない問題があります。

行政は、勤務時間のフレックス制の導入や年俸制の導入でサービスの向上を進め、お金と知恵と労力を地域のために提供してほしいと思います。あわせて、地域で活躍する民生委員、愛育委員、防犯委員、環境衛生委員、農業委員などの各組織の活性化を進めることにより、協働のまちづくりが可能だと思えます。

## 総務部長

人件費の削減は、定員管理・職員数の適正化に取組み、効果を挙げています。しかし、その効果額だけでは財政状況を好転させるに至っていません。人件費は毎年約1億円ずつ削減していますが、地方交付税は毎年3億円減っています。厳しい財政状況を踏まえて、引き続き給与の適正化について取り組んでいきます。

フレックス制は、合併前の平成15年から「時差出勤制度」を活用しています。また、年俸制の導入は、現行の地方公務員法の下では実施は困難です。

## E氏

県から土石流について、説明があり危険区域の指定について話し合いました。土石流の範囲を見たら水でつかる範囲と重なっていて、私たちが避難するところがどこにもありません。どれだけの雨でどうなるか技術的な説明は何もありません。市の「防災計画」は具体的な雨量などを示し、地域に即した「防災計画」となっていますか。

## 総務部長

手元に「防災計画」を持って来ていないので細かいことは説明できませんが、具体的な内容は総合支所の担当の方へお問い合わせください。

## C氏

「防災計画」はそういう危険箇所とは意味合いが違います。県は、土石流、急傾斜で災害地区を指定しているものとしていこうとしているものです。市がやっている「防災計画」は災害が起きた時の体制をどうするかという計画です。

## E氏

県の土石流の説明は、信用できないと思いました。危険性のあることに対しては、積極的に対応していただきたいと思えます

## 産業建設部長

地区住民の人がわかりにくい説明があれば、何の意味もないと思います。もう一度、市の方から土石流についてどのような説明をしたか確認するとともに、わかりやすい説明をしてほしいとお願いします。

## E 氏

土石流が起こる範囲だけを指定しています。雨量などのバックデータが何もありません。

## 産業建設部長

言われていることは、そのまま県の方へお願いします。

## F 氏

市は、鹿久居島と本土の架橋事業を進めると聞いていますが、島民 400 名の緊急対応としての事業と理解していました。

吉永市民病院周辺環境整備事業は、平成 18 年度に病院東部分を実施していますが、19 年度は事業が継続されていません。工事を財政難で中止したのでしょうか。それでも、約 90 億円の架橋事業は優先して進めるのかというのが、市民の多勢の意見です。市の対応をお聞きしたいと思います。

## 市長

病院東側（A67 号線）は、実施しています。西側は（A128 号線）トンネルを掘り下げます。形が曲がっていて、県道との間の道が狭いので、まず広げようとしています。それから地面を 30 センチぐらい低くすれば、普通の車も通ると思います。

架橋は、大切な問題なので説明します。第 1 期事業は、平成 17 年度で終了し、第 2 期工事を平成 18 年度から始めたところです。配布している表のとおり、一般財源と書いている部分の合計は 1 億 3,410 万円、合併特例債欄（借入金）の合計は 25 億 4,080 万円です。合併特例債は、償還金の 7 割を国が面倒をみてくれます。3 割は返済しないといけません。79 億円というのは、市の金を全部使うということではありません。86 パーセントを国が出して 14 パーセントの 11 億円を市が出すということです。中止しても 79 億円のお金が浮くわけではありません。500 人のところに、11 億円の金が出るのはもったいないと言われるかもしれません。

島の人たちは、本土からの定期船の最終便が午後 6 時 50 分ですから、残業ができません。中学生、高校生は、クラブ活動もできません。病気の治療を受けるため、本土へ通院するのは定期船でないと行けないので、病院にもなかなか行けません。このように通勤、通学、通院、福祉の恩典を受けられない人がいます。市が 86 パーセントを出して、国が 14 パーセントでなく、国が 86 パーセントを出してくれるのですから、そういうところも理解していただきたいと思います。

経済効果は、橋を架けた方が架けないより 3.7 倍の効果があるという数字が出ています。これにより、国が事業採択してくれています。鹿久居島には、民有地が 186 ヘクタールあります。優良な宅地開発業者により、プランを作って計画的にやっていけば、ゆくゆくは市の大きな固定資産税の源になります。確かに今は苦しいですが、架橋事業を実施しても、実質公債費比率は 0.4 パーセントしか上がりません。吉永病院と日生病院を建て替えたからだと言われますが、2 病院を立て替えても 0.56 パーセントしか上がりません。

合併前に、日生の架橋は続けていく、備前の公共下水道事業は続けていく、吉永はポン

プ場と認定子ども園を実施するというので、それぞれの事業推進について合意しています。ぜひ、ご理解いただきたいと思います。

#### F氏

鉄道の南と市立病院の北との道路が直角なので普通車が通れないため、産業道路から市立病院も駐車場を通過して、それからガード下へ出る車がある。病院内で事故が起きたら困るので、早急に実施してほしいと思います。

#### C氏

水路の上に蓋をすれば、車が安全に回れます。土地を買収しなくても安全に回れます。一年間放置されているのでちょっと心配なっているという状況です。

市の方にも見ていただいて、早急に対応していただきたいと思います。

#### 副市長

この件は、従前から聞いているので、できるだけ早くやりたいと思います。しかし、病院の土地、駐車場を通ることは事故が起きても困ります。本来、病院への入り口として、あそこは開けています。病院へ駅の方から来やすくするため、開けています。車が通るためではありません。これはちょっと問題があると思います。道路の方を先に整備するのが妥当だと思います。

#### F氏

ガードをくぐったところから、病院の中を通るか、西側を通るか、北側を通るか三通りあって、病院の中を通るのは、一番安全な方法です。西側の溝をグレーチングで蓋をすればとけっこう幅広く通れます。そうすると、みんなが、あの道を通って産業道路に出ると思います。

#### 副市長

グレーチングだけで済むのであればいいのですが、今のところ道路を拡幅し、安全に県道に出るという計画を持っています。それでよければ、計画を変えてもいいと思います。グレーチングも検討してみます。

#### G氏

鹿久居島と本土に橋が出来れば、鹿久居島に宅地を造成できると聞きましたが、備前市全体を見据えて計画をすべきではないかと考えます。人口減少傾向は、吉永も例外ではありません。地価も3割以上下落をしています。田畑も休耕田が年々増加しています。吉永の開けた平地を宅地に提供するのと、島の条件の劣る場所に宅地造成するのとではどちらが安価に出来るかは一目瞭然です。吉永は環境もよく、交通アクセスも山陽本線、山陽自動車道と備前市の中心に負けない条件を備えていると自負しています。吉永のこれからの位置付けをどのように進めていただけるのかを説明してください。

#### 市長

日生の島の宅地というのはリゾート的な宅地で、性格がちょっと違います。団塊の世代が帰って住むというように、一般的な住宅とは少し違います。

吉永は、環境のまちとして強調することを考えています。まほろば事業の延長で、環境庁からの補助事業として、公共の施設の屋根だけを貸してもらって、太陽光発電装置を取り付けて発電する。そして余った分は中電に買い取ってもらおうというやり方で、太陽光発電をどんどん広げていこうとしています。吉永を中心として、瀬戸内市、赤磐市、和気町、岡山市も入ってもらって協議会を大きくしました。吉永町がCO2削減の大きな基地になるよう、PRも含めて考えています。

## B氏

吉永は地上デジタルテレビ放送で悩んでいます。受信施設組合400世帯の世話をしていますが電波の過疎です。総務省に問い合わせると、補助金を出すことにしているので詳しいことはそれぞれの市町村に問い合わせてくださいと言われました。

補助要綱ができていれば示していただきたい。

## 企画財政部長

地上デジタルテレビ放送対策は、基本的に国及び放送事業者において進められるべきものと考えています。国は従来から放送の受信は受信者自らで設備を整備するように言っています。こういう考えに変わりはありません。

地上デジタルテレビ放送中継局の整備や辺地共聴施設の整備を推進していくようにされています。2011年に送り届けられない地域には暫定的なものとして、衛星を使って地上デジタルテレビ放送を送り届けることを検討すると言われています。

このような中で、総務省から共聴組合向けの説明会を考えているとの話が入ってきています。事前に市内の共聴組合情報を整理する必要がありますので、区長さんには協力をお願いすることになると思いますが、その節にはよろしくお願いします。

今後の対応ですが、国や放送事業者の対応など不確定要素が多く、全般的に見守る時期であると考えています。市の関与についての基本的な考え方は、放送事業者の企業努力による中継局の整備による難視聴解消を基本としながら、なお、取り残される難視聴地域の解消を可能な限り、補助を活用する方向で検討することが妥当であると判断しています。

また共聴施設の解決手段としては、国が検討を始めている衛星のほかに、ギャップファイラーという無線共聴の施設が有力であると考えられています。今の状況はそういう状況です。

## B氏

国は、ケーブルの張り替えなどには補助金は出されないが、共聴施設のアンテナ付け替え、アンプの付け替えについては補助しますということで、市町村が1/3、地元が1/3、国が1/3と聞いています。補助金はどうなっているのでしょうか。

## 企画財政部長

補助金の問題ですが、国と事業者が主体となって解決するものであり、市の費用を投入することは慎重にやるべきだと考えています。

## H氏

架橋の問題は、合併協議会で決まったようなことを言いましたけど、聞いたところによると、架橋の事業費は58億円位だったと思います。それが今回79億円になっています。

架橋事業は決定でなく、一応試算を出したという紳士協定になっていると聞いています。鹿久居島に民有地があって団塊の世代を呼ぶということですが、老人医療費を上げるだけではないですか。

### 市長

そういう発想とは比較になりません。老人も少しは来ますが、人口が増えますし、建物を造ると固定資産税も増えますし、いろんな意味で発展をしていきます。

### H氏

来年は人口が4万人を切るかもしれません。鹿久居島の開発も大事かもしれませんが、抜本的な対策をとってください。

### 市長

人口流出を防ぐための施策でもあるわけです。平成26年までに大規模な優良な宅地開発業者と計画を立てて、そういう宅地を提供することも含めてやっていかなければいけないということです。

### H氏

夢のような事業ですが、農業振興地域の解消を図ってでも、宅地化してやっていただきたい。

### 市長

八木山に市有地があります。保安林解除など宅地開発をすると、結構、坪当たりの単価がかかります。保安林解除にも時間がかかりますし、何の目的もないのに保安林解除だけをしていくというわけにもいきません。農業振興地域の解消も計画もないのに、とりあえずやっていくということもできません。

### H氏

農業振興地域の解除も1年に1回、保安林の解除も1年に1回であるなら、鹿久居島の開発より早くできます。

### 市長

それぞれの地権者に勝手に開発させていたら、鴻島のようになってしまいます。現在、消防車も入らないというような結果になっています。だから、計画的にやっていかないといけないと考えています。

合併6ヶ月前の平成16年11月23日、橋が架かった時の新聞記事の中で「第2期の工事は約75億円と見込まれる。厳しさを増す財政の中、着工の見通しは不透明である…」とあります。私は75億円という数字をはっきりと言っています

### H氏

ここへ各自治体の事業費額というのがあります。合併協議会のまちづくり委員会の資料に道路新設改良事業、日生町58億4,400万円という数字が出ています。なぜ79億円になったのですか

**市長**

各部会でいろいろあったかもしれないが、半年前の11月23日に新聞に載っています。

第1期計画は、平成6年に始まったのですが、平成7年ごろに1期と2期でどれぐらいかかるのかということを経済委員会などで言われたことがあるらしいです。その時に、およそ50億円と50億円というような数字が言われたらしいです。最初は50億で間違いなかったが、第2期の分をおよそ50億円と言っているものがずっと尾を引いています。75億円が79億円になったのは、誤差の範囲だと思います。私は一度も50億円とは言っていません。合併協議会では、続けていくということ合意しており、数字は出ていません。

**I氏**

あれは、それぞれ事業がどれぐらいかかっているかということの概算資料であって、積算したものではありません。備前の下水道事業でもこれから300億円近いものが350億円になるかもわからないし、吉永のポンプ場にしても概算を出しています。積算をきちりしていないわけですから、事業の方針が決まってから積算するわけですから、大まかな概算資料です。

**市長**

概算ということです。

**C氏**

こういう大きなプロジェクト事業というのは、プロジェクト事業が必要かどうかというのが大切なことです。金額は積算していく中で変わっていきます。現場に入行っても変わっていきます。この事業が、本当に必要であるかどうかということをもとに考えてやるべきであるということです。

吉永町に幼稚園と保育園の候補地を探しているように聞いています。吉永駅東側のクレーン工場があったところが更地になっています。土地(8,000平方メートル)は譲ってもいいというようなことを言っていました。交通アクセスは非常にいいところなので、学校とか公共施設とか、商業施設とか、何とか利用することを市の方で考えてほしいと思っています。

**副市長**

今日、話を聞きました。会社の跡地を公共施設、公共施設以外も利用できないかということで担当課にも調査するように指示しています。

**E氏**

県道96号線のB&G海洋センターの付近からコンビニローソン付近は、子どもや高齢者などが多く通ります。大型化したダンブカーが通るので歩行者にとって大変危険です。県に歩道の設置をお願いしてください。

難視聴区域地上デジタルテレビ放送は、市は国の仕事ということで助成はしないということですね。

**産業建設部長**

96号線につきましては県の方へお願いをします。



## 副市長

地上デジタルテレビ放送の関係ですが、市は、一切知らないということではなく、今は何とも申しようがないということです。市もどうしたらいいか状況待ちです。テレビが見えないことは大問題ですから、市としてもほっとくわけにはいきません。だからと言って、責任を持って補助するとか、今は言えないということです。責任は国と放送事業者です。市はあくまで国に要望しているということです。

## E氏

切り替え対応について、われわれは市民から聞かれます。市民より先行して、もっと調べてほしいと思います。